

# 合格体験記

愛知県(中学校・数学)に合格 M.N.さん

**Q** なぜ教師を目指したのですか？

**A** 小学生の時に私を支えてくれた担任の先生に憧れをもったからです。また、教える事が好きで、子供が好きだからです

**Q** 教員採用試験に向けて、いつから勉強しましたか？

①いつから勉強しましたか？

**A** 3回生の冬くらいからだと思います。

②勉強する際、どのような教材を使っていましたか？

**A** 一般教養、教職教養ともに  
先生のイチオシだった東京アカデミーの参考書&問題集  
時事通信社の過去問 2008 [全国版]  
協同出版の都道府県別の教職・一般教養  
時事通信社の教員養成セミナー  
を使いました。専門も大体同じ種類のものを使いました。

③息抜きの方法は？

**A** 友達とおしゃべりすること、おもいっきり遊ぶこと、美味しいものを食べること、好きなモノに浸ることです。

④眠気対策は？

**A** ガムを噛む…とか、思い切って少し寝る……とかです。

⑤1日何時間勉強していましたか？

**A** 春休みなどたくさん時間がとれる時は10時間ぐらいやりましたが、教育実習開けのレポートに追われている時は頑張れて1～2時間ぐらいでした。

⑥大阪府以外の対策は？

**A** 神奈川県も愛知県も、その県における教育の政策とか方針についてHPなどから印刷して読んでいました。一次試験では、大阪府にはない小論文や専門の試験の勉強もしておいた方が良いでしょう。二次試験では、一次合格がわかってからほぼ毎日学校に行って、神奈川なら模擬授業を考えて見てもらったり、愛知なら小論文の本を読んだり、過去問を解いたりしていました。

Q 教職ナビについて

①どのような点が良かったですか？

A 教員を目指す仲間と出会えた事。学部が全然違う他教科の仲間と出会えたことも大きいです。春休みとかでも学校で勉強していたら話とかできるし、実際に試験の時とかも心強かったです。1人では乗り切れなかったと思うので、ほんとに入って良かったと思います。

②教職ナビでは、どのような活動をしましたか？

A ディベート、模擬授業、集団面接、ディスカッション、ロールプレイ、一般・教職教養など。試験に向けた実践的なことから、指導要領や新聞の教育ニュース、気になることを調べて発表したり、詞を読んだり。とにかくいろんな事をしました。

Q 面接対策はどのようにしていましたか？

A 面接対策としては、毎回の面接練習に顔を出すことでした。初めて練習に参加した時、緊張すぎて名前や校種、教科を言うこともままならず、泣きたくもないのに涙が出てくる始末でした。こんな状態ではいけないと思いながらも、全然しゃべれなくて落ち込む事が多かったです。でも、それでもめげずに毎回参加することでほんとにちょっとずつだけど泣くことも減ってきて、喋る量が増えていきました。内容については、参加することで、みんなの意見や先生の話聞いて書き留めてまとめたりして次に活かせるようにしました。私は面接のときにしっかり頭で考えて話せる方ではなかったので、みんなが喋っているのをしっかり聞いて、音でも思い出せるようにしていました。

Q 来年から教壇に立つわけですが、どのような先生になりたいですか？

A 漠然としていますが、生徒に「このクラスで良かった、楽しかった。先生が担任で良かった。」と思ってもらえるような先生になりたいです。

Q 後輩にメッセージをどうぞ。

A 1人では挫折してしまいそうなことも、仲間がいることで乗り越えられることもたくさんあります。支えあい、協力し、切磋琢磨しあって、みんなで夢を叶えるために頑張ってください！あと、いろんな体験・経験をして、自分の幅を広げて、素敵な先生になってください！！